

エックス線（レントゲン）検査が心配な方へ

歯の奥深くまで進んだむし歯。あごの骨を溶かす歯周病。

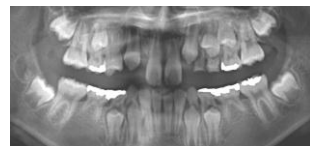
歯の病気は見えない所に潜んでいます。

外から見えない部分を調べるにはエックス線検査が必要です。

より確実な検査・診断を希望される場合は、レントゲン写真を撮って確認させていただきます。

〈歯科のエックス線の量〉

パノラマエックス線写真（デジタル方式 1枚あたり）
…0.01ミリシーベルト



デンタルエックス線写真（デジタル方式 1枚あたり）
…0.005ミリシーベルト



〈胎児に影響が出ない安全なエックス線量〉

胎児に影響が出ない量…100ミリシーベルト以下

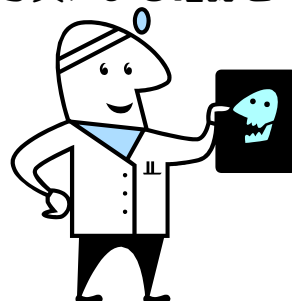
じつは私たちは普段の生活のなかでも放射線を浴びています。

空気中や大地からの放射線、また食物や宇宙から降り注ぐ放射線などです。

この自然放射線を1日当たりに換算すると約 0.004 ミリシーベルト になるため、歯科のエックス線の量とほとんど変わりません。

エックス線写真を撮ると虫歯、歯周病以外にも様々な情報が得られる為、放射線のデメリットにくらべて大きなメリットがあります。

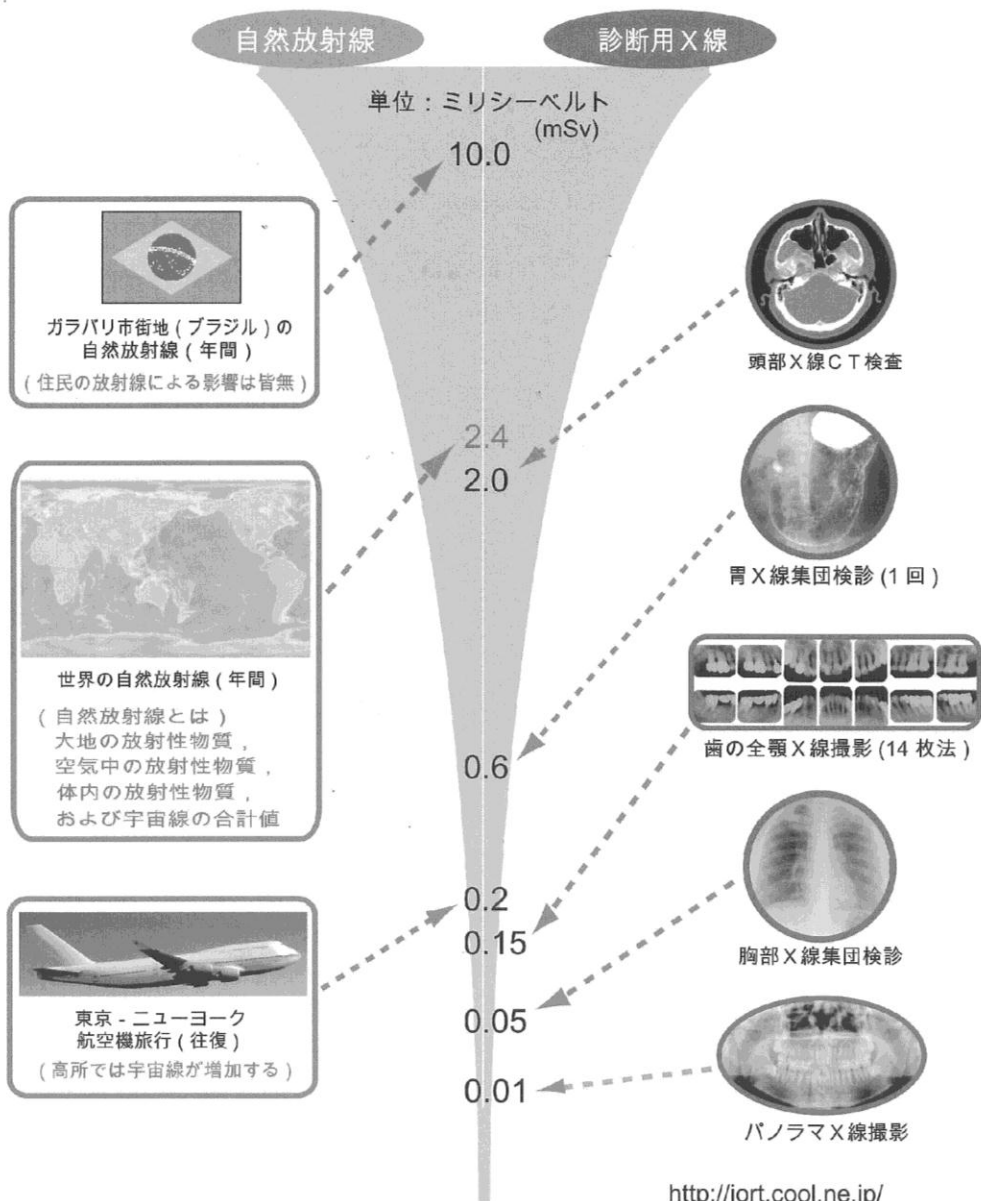
より質の高い診断と治療をご希望の場合は、レントゲン写真による確認をした上で治療に入らせていただきます。



自然放射線と診断用X線の比較

★実効線量による比較★

〔実効線量 (mSv) とは：全身の組織と臓器ごとにX線の影響を加味して計算した総線量〕



<http://jort.cool.ne.jp/>

全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会

お断り：通常、被曝評価は吸収線量 (mGy) で行いますが、自然放射線と比較するため実効線量 (mSv) を用いています。
なお、実効線量は ICRP1990 勧告 (Publication 60) に準拠しています。